



# 2023年3月期第1四半期 決算補足資料

2022年8月5日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

# 目次

## I .2023年3月期第1四半期 実績

## II .2023年3月期通期業績予想、配当予想

# I .2023年3月期第1四半期 実績

# 2023年3月期第1四半期 連結実績

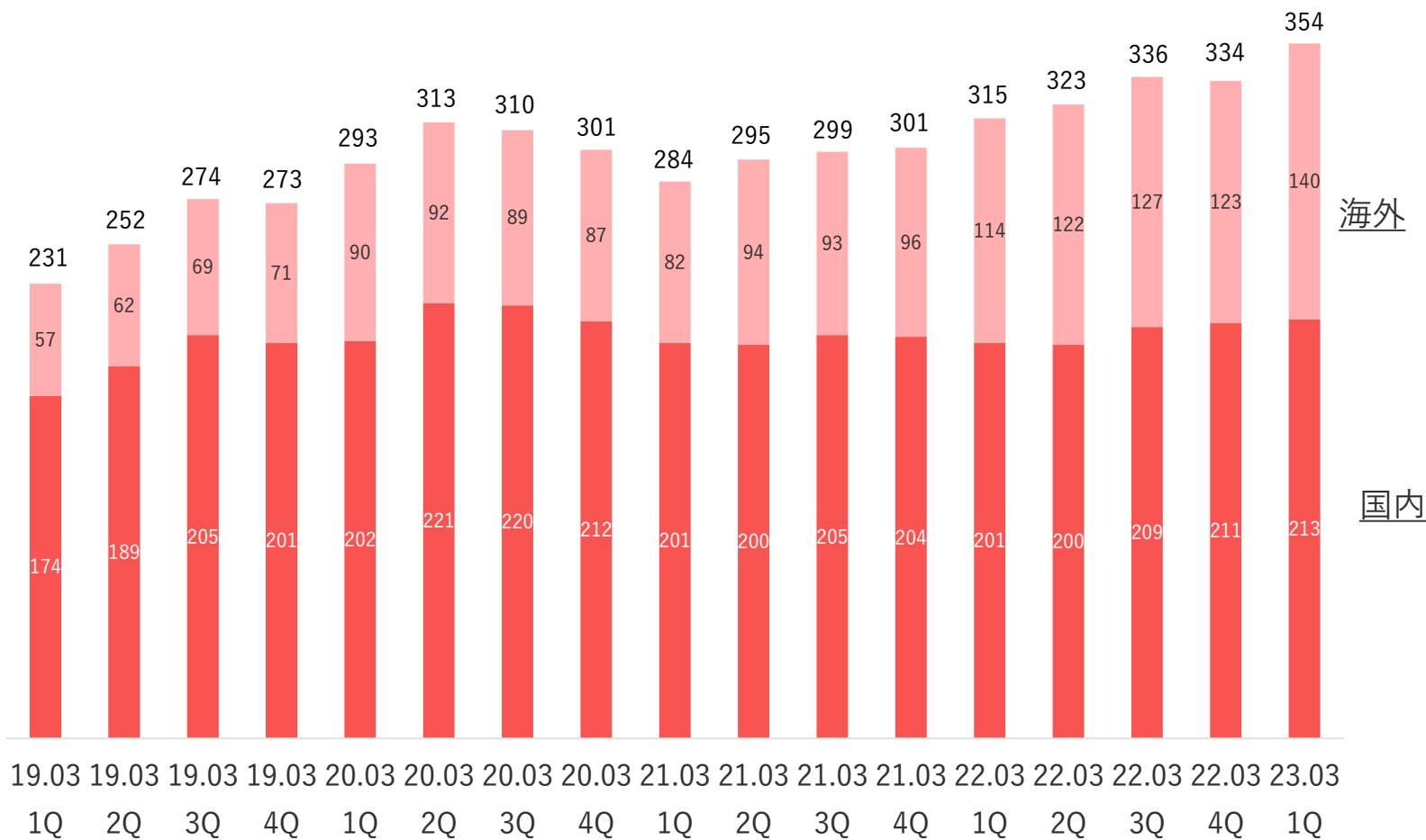
国内WORK事業が回復基調になったことに加え、海外WORK事業も堅調に推移したことで、増収増益。

(億円)	前年同期 実績	実績	前期比	
			増減	増減率
売上収益	315.3	354.4	+ 39.0	+ 12.4%
売上総利益 (売上総利益率)	69.0 (21.9%)	80.3 (22.7%)	+ 11.3 (+ 0.8pt)	+ 16.4%
営業利益 (営業利益率)	11.3 (3.6%)	14.3 (4.0%)	+ 2.9 (+0.4pt)	+ 26.0%
税引前利益	11.4	14.2	+ 2.7	+ 24.4%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	7.0	7.5	+ 0.5	+ 8.0%
EBITDA (営業利益 + 減価償却費及び償却費)	16.1	19.6	+ 3.4	+ 21.6%

従業員数：5,991人  
(前年度末比：+ 628人)

# 連結売上収益の四半期推移

(億円)

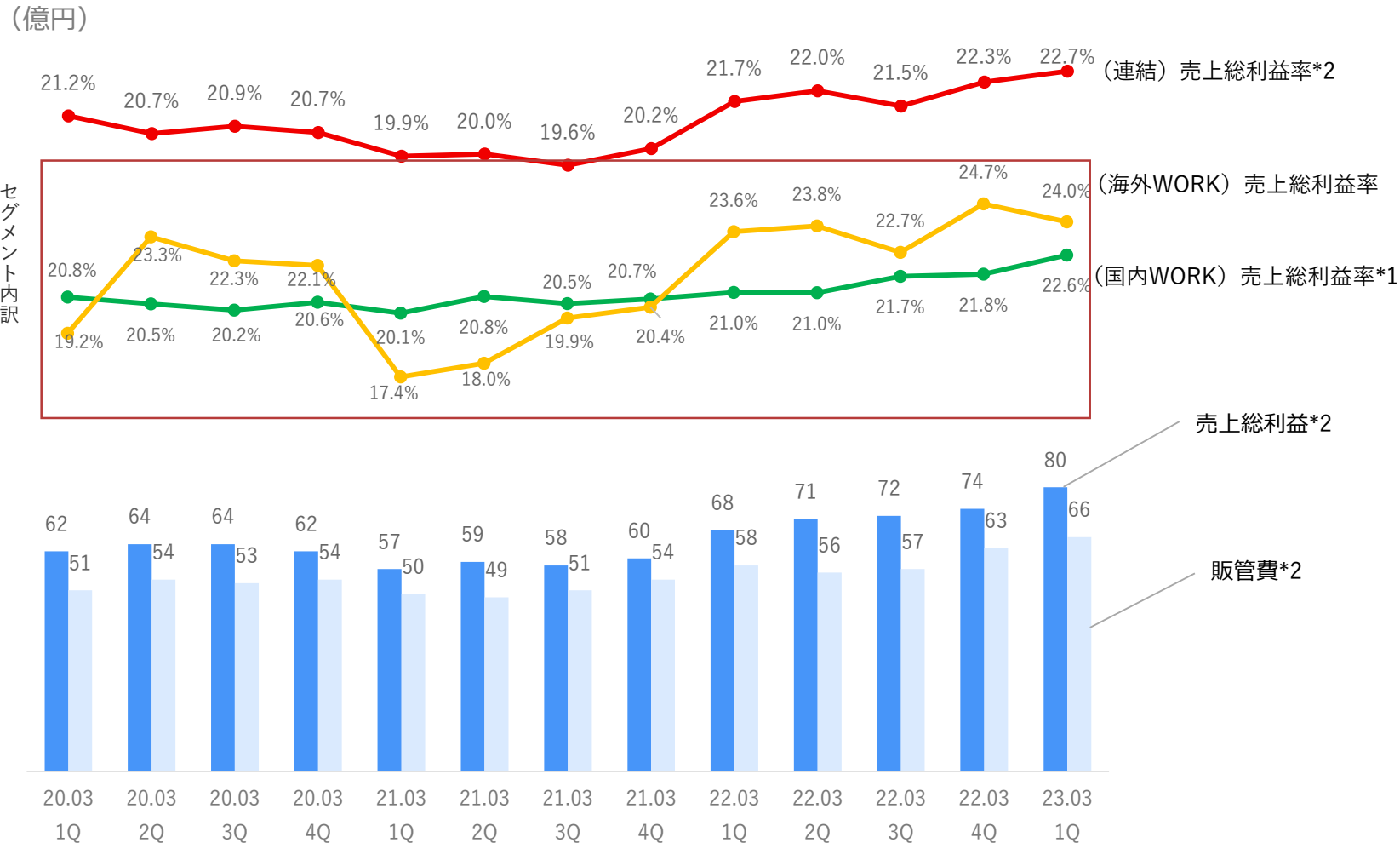


1Qは、  
22.3期4Q比：+19億円  
(うち為替影響：+14億円)

国内は、回復基調。  
海外は、引き続き堅調。

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# 売上総利益率の四半期推移



Perm SHIFTにより、  
連結売上総利益率は、  
過去最高を更新。

戦略投資領域（建設、スタートアップ、介護）の  
先行投資は、  
計画通り進捗。

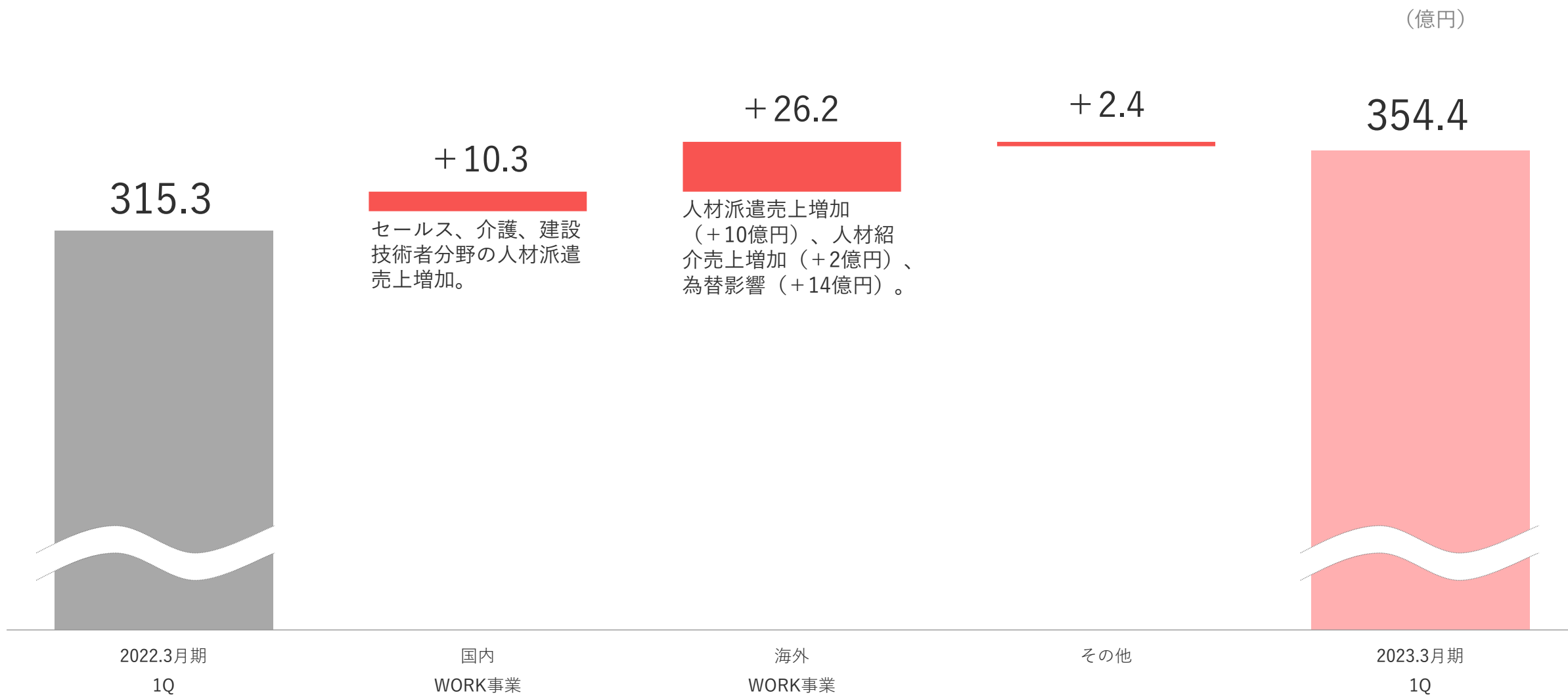
1Q計画 : 3.0億円  
1Q実績 : 3.0億円

\*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

\*2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

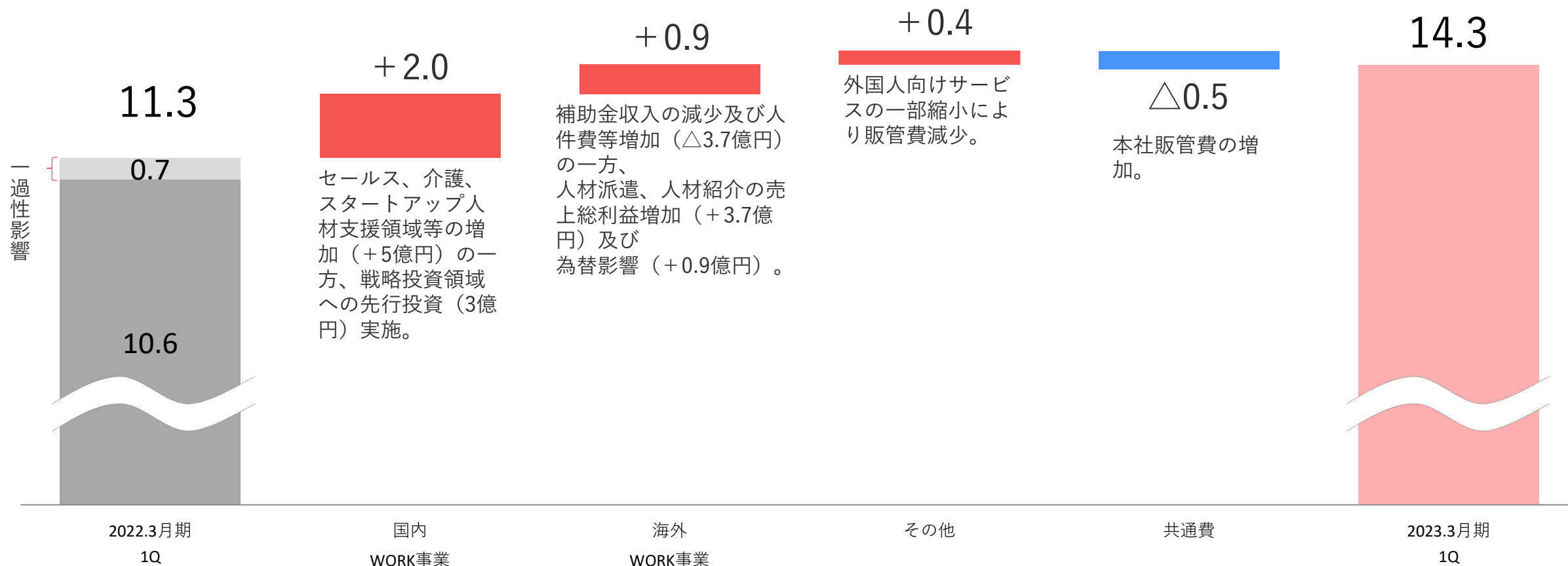
# 売上収益 前年同期増減内訳

(億円)



# 営業利益 前年同期増減内訳

(億円)





# 国内WORK事業

## -売上収益、セグメント利益（億円）-



(億円)

実績

前期

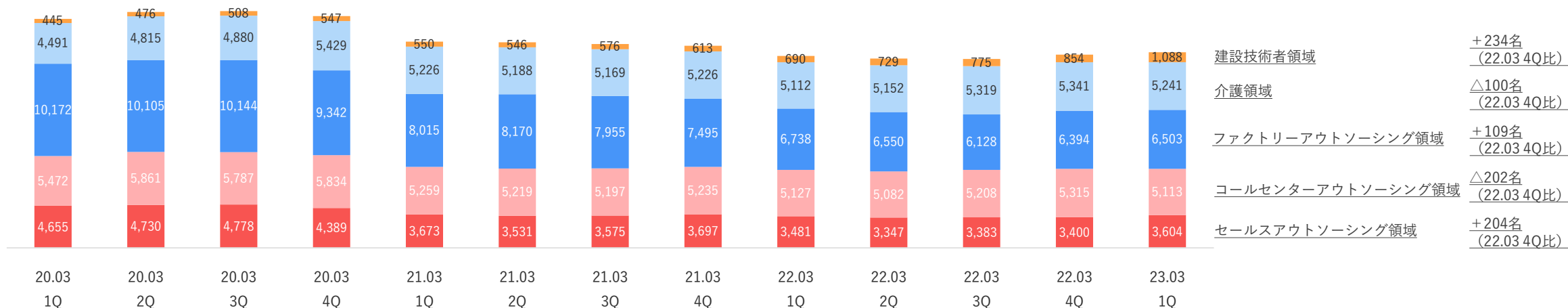
前期比

売上収益	208.6	198.3	+ 5.2%
セグメント利益	11.8	9.7	+ 21.4%

### -トピックス-

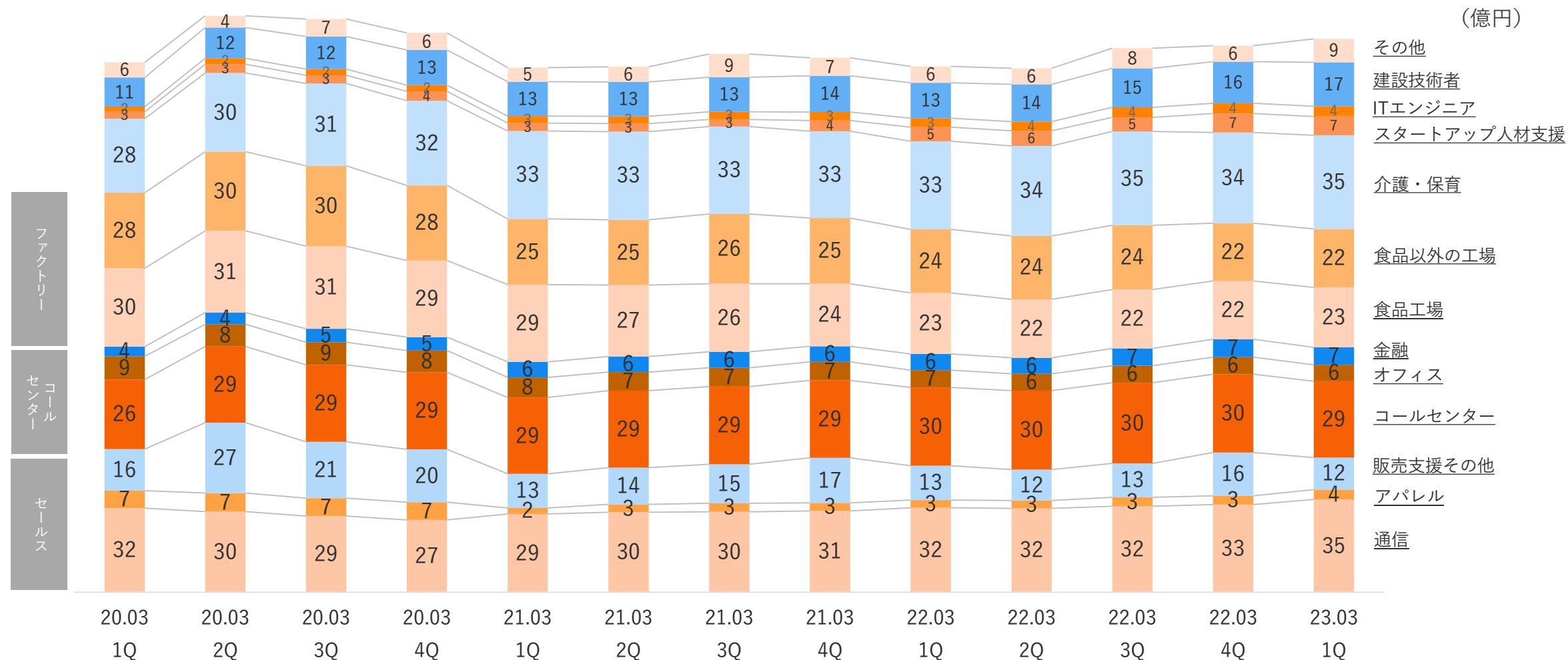
- 建設技術者領域（2億円）、スタートアップ人材支援領域（1億円）の先行投資を実施。
- 1Qの稼働スタッフ数は、2022年3月期4Q比で概ね増加。

## -稼働スタッフ数（人）-



# 国内WORK事業（分野別売上の内訳）

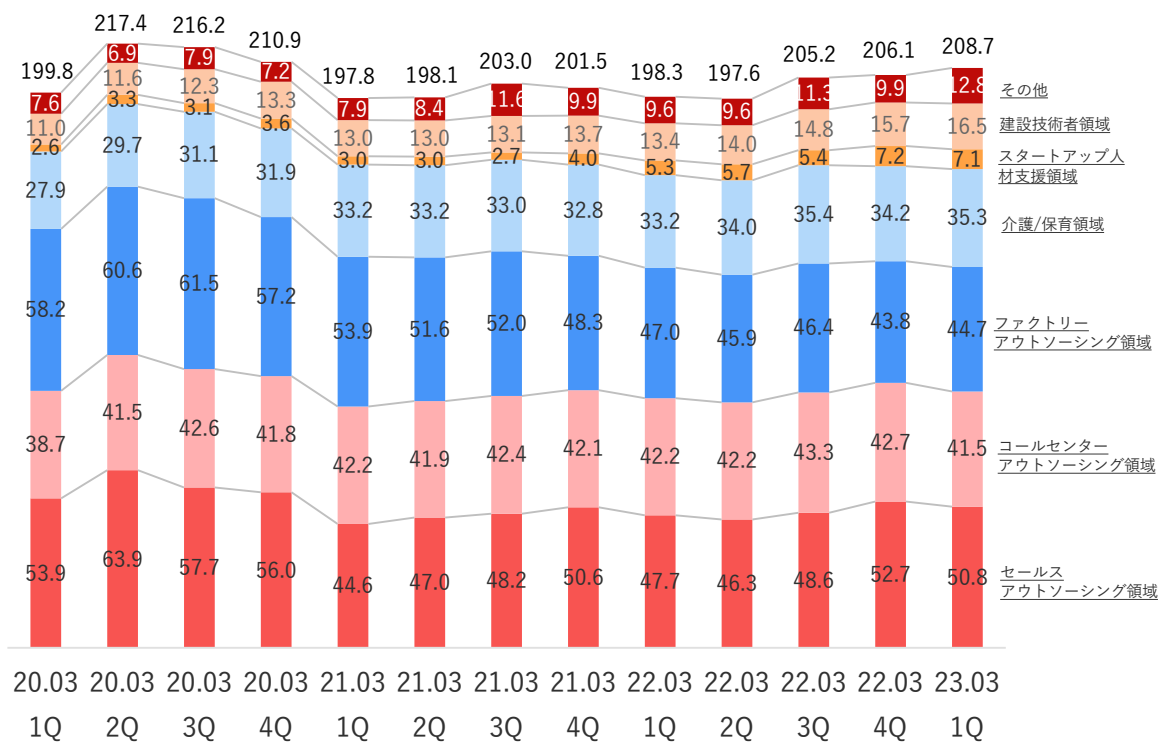
通信分野、介護・保育領域、スタートアップ人材支援、建設技術者領域が堅調に推移。



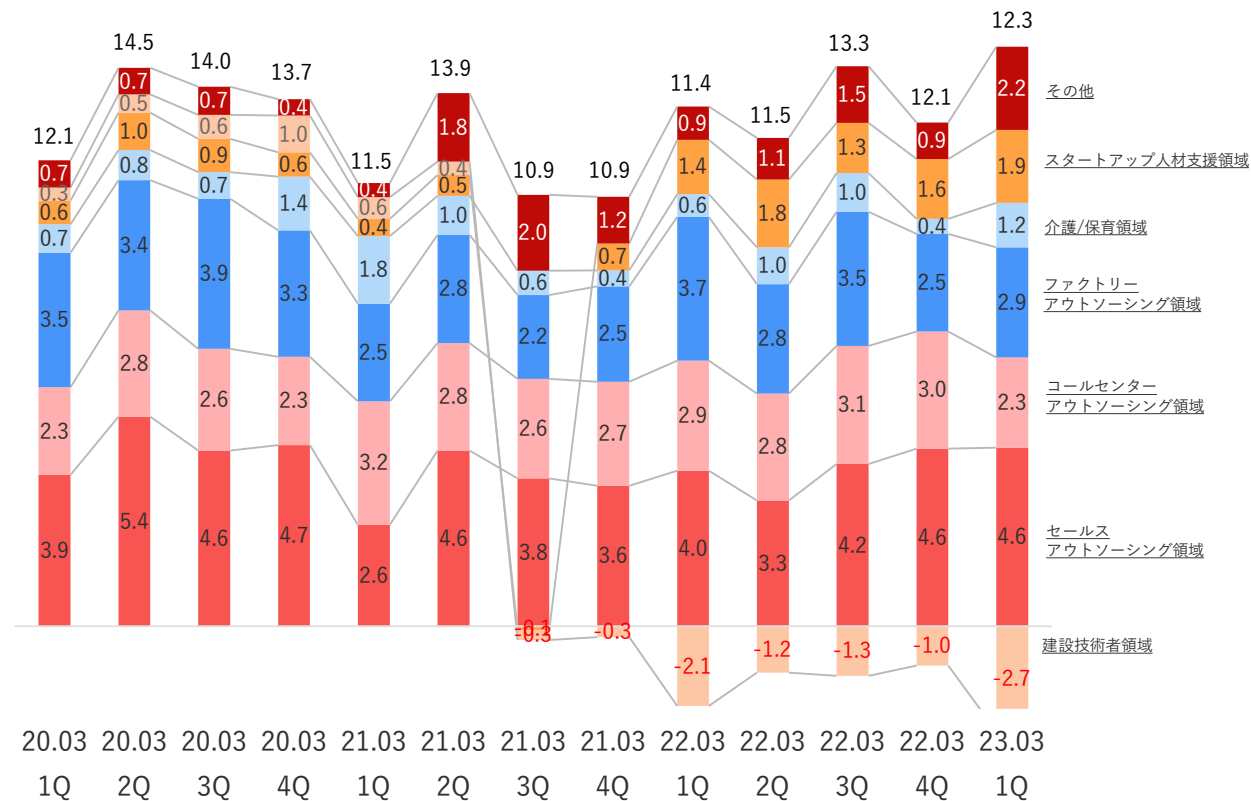
# 国内WORK事業（領域別売上高、営業利益）

建設技術者領域は、当年度は先行投資（人員増強、採用費投下）期間。

-領域別売上高（億円）-

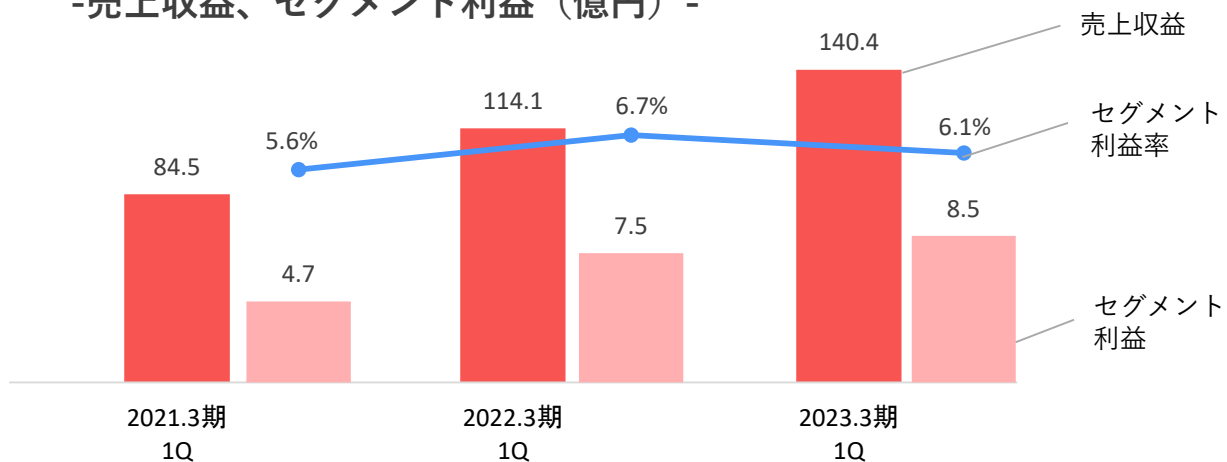


-領域別営業利益（億円）-

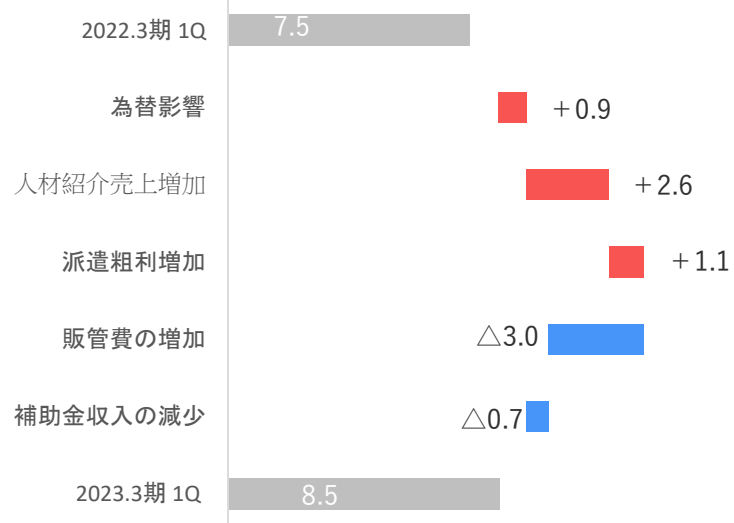


# 海外WORK事業

-売上収益、セグメント利益（億円）-



-セグメント利益増減要因（億円）-



(億円)

	実績	前期	前期比
売上収益	140.4	114.1	+23.0%
セグメント利益	8.5	7.5	+12.6%

-トピックス-

- 豪州、シンガポールとも求人件数は、過去最高水準で推移しており、人材派遣、人材紹介とも増加。
- オーストラリアドル、シンガポールドルとも円安に推移。為替影響は、売上収益+14億円、営業利益+0.9億円。

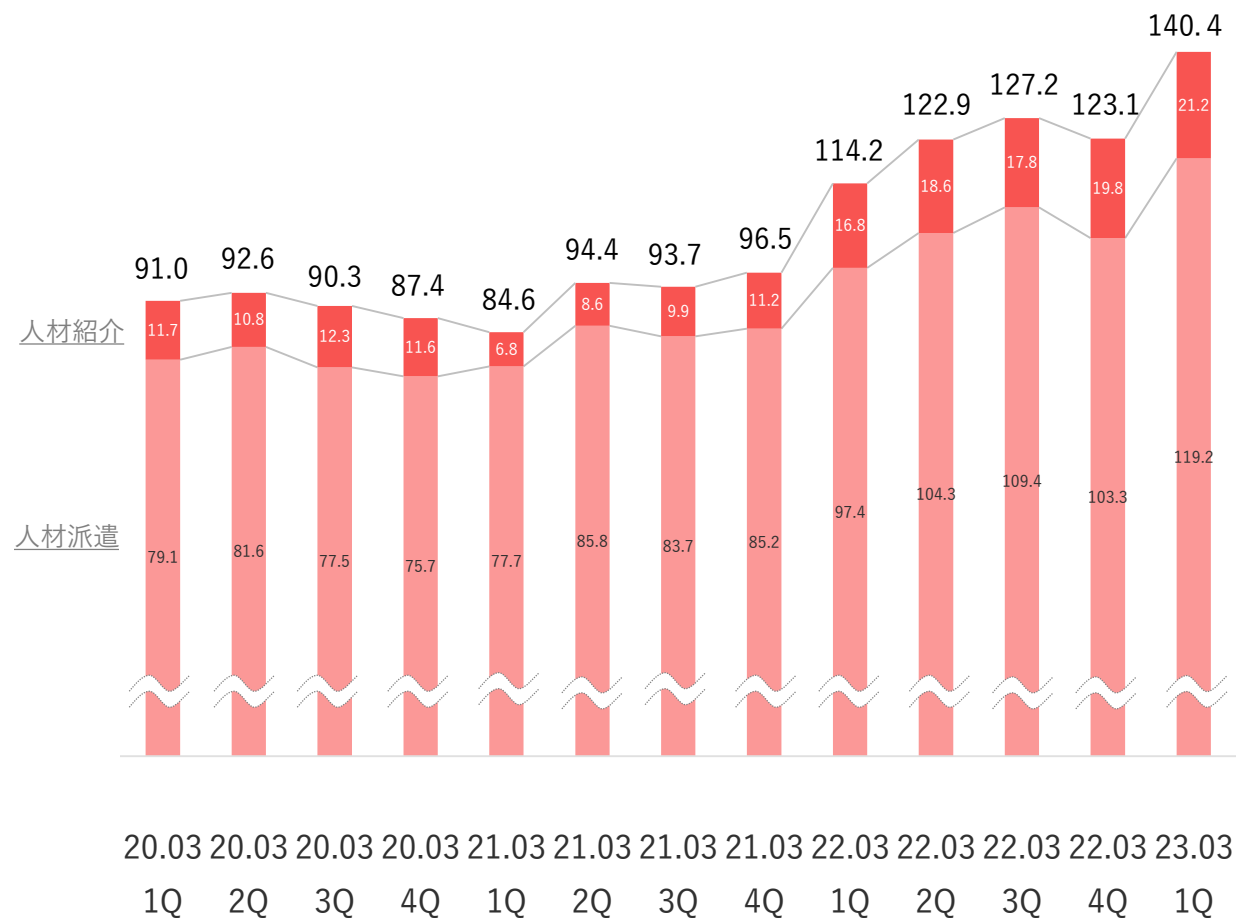
□為替感応度

	計画レート	1Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	78円	93円	84円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	79円	94円	82円	1.1億円	0.1億円

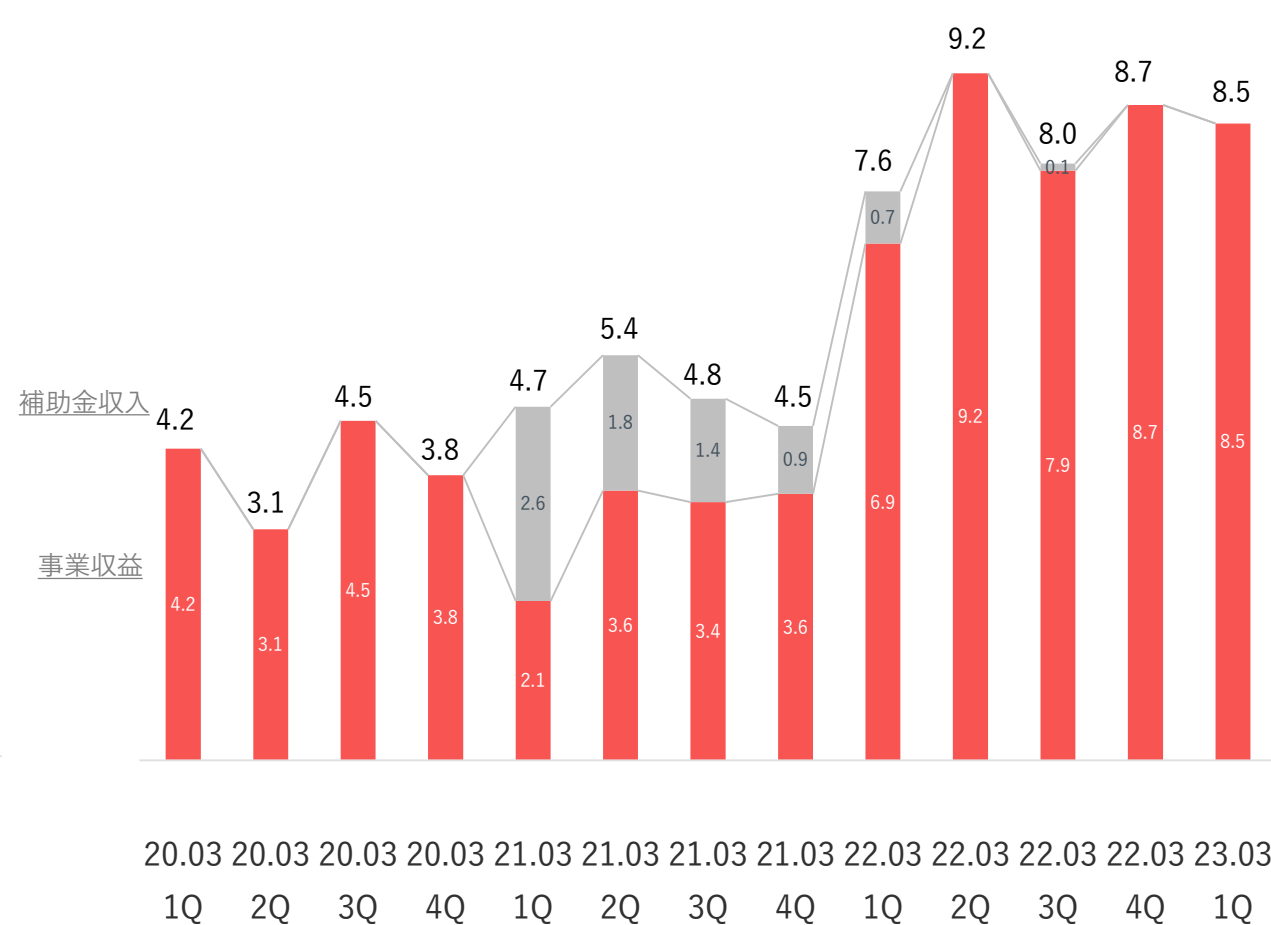
# 海外WORK事業（契約形態別売上高、営業利益推移）

人材紹介売上は、持続して高い成長。感染症拡大前の2020年3月期と比較してもベースが着実にUP。

-契約形態別売上高（億円）-



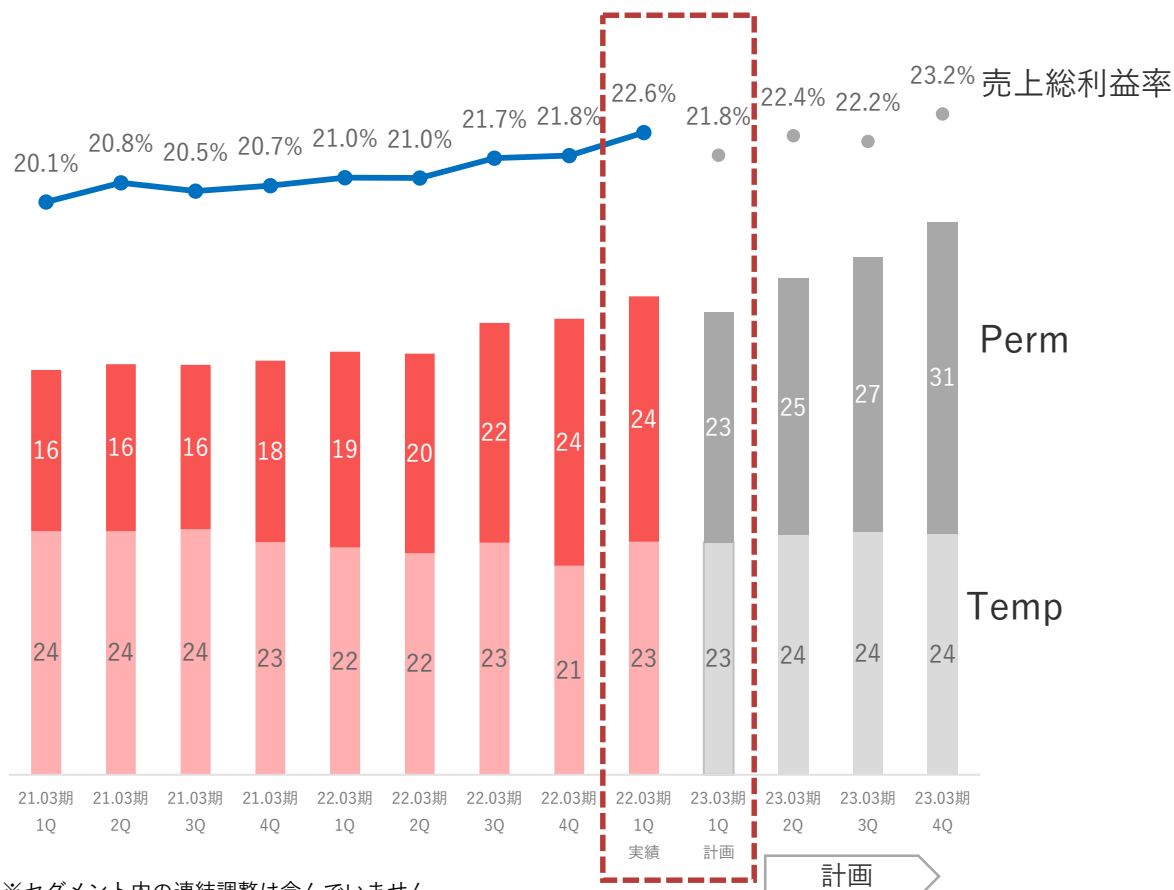
-営業利益（億円）-



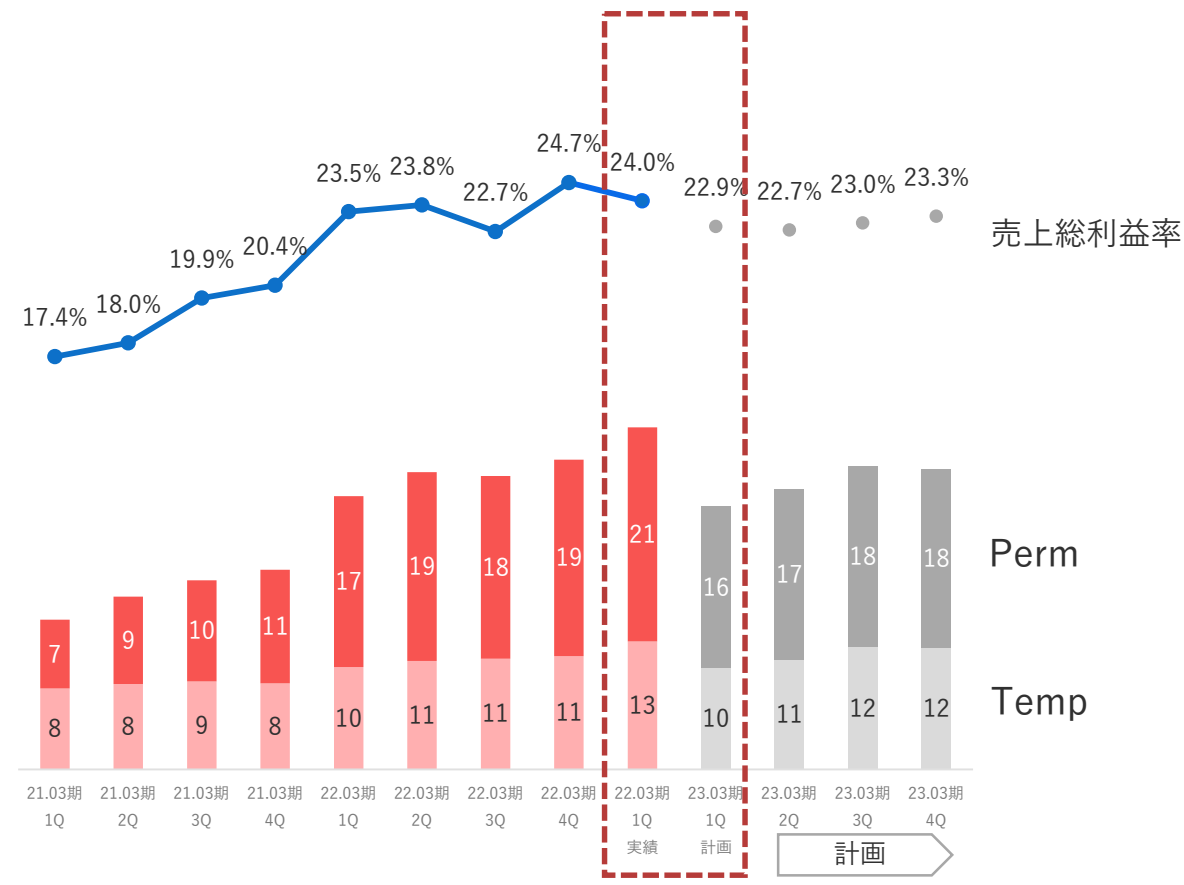
# (国内・海外) ポートフォリオシフト進捗

国内WORK事業は、Perm SHIFT推進により売上総利益率は上昇。海外WORK事業は、Temp (人材派遣) の増加により、売上総利益率は低下するものの、売上総利益額は増加。

-国内WORK事業 Temp/Perm別売上総利益※ (億円) -



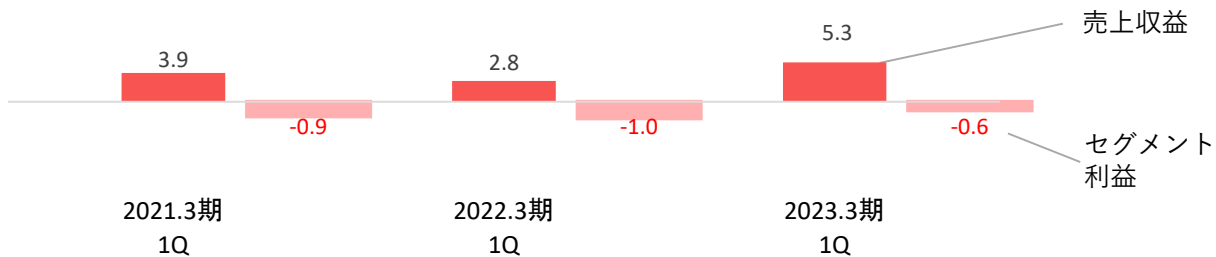
-海外WORK事業 Temp/Perm別売上総利益 (億円) -



※セグメント内の連結調整は含んでいません。  
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# その他

## -売上収益、セグメント利益（億円）-



## -その他の事業内容-

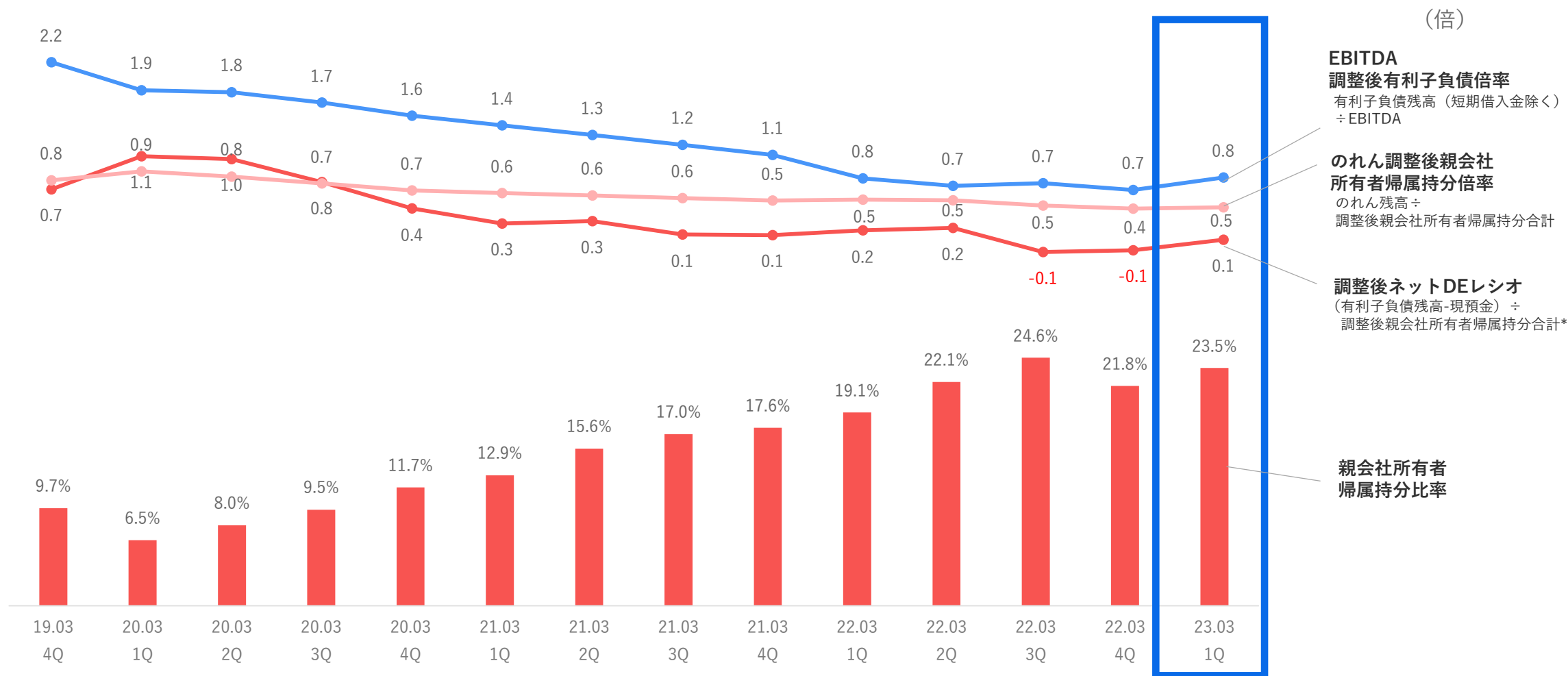


(億円)	実績	前期	前期比
売上収益	5.3	2.8	+83.7%
セグメント利益	△0.6	△1.0	-

## -トピックス-

➤探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。ただし、日本国内への入国制限が続いているため、外国人労働者の本格的な国内への入国再開まで外国人労働者向けサービスを一部縮小したことから、販管費減少。

親会社所有者帰属持分比率は、1Qで23.5%。中期経営計画目標：20%を上回って進捗。





# 連結貸借対照表

(億円)	2022年 3月末	2022年 6月末	増減
流動資産	272.8	266.5	△6.3
非流動資産	250.6	249.3	△1.2
資産合計	523.5	515.9	△7.5
流動負債	293.6	273.2	△20.3
非流動負債	98.6	107.9	+9.2
負債合計	392.2	381.2	△11.0
資本合計	131.2	134.6	+3.4
負債及び資本合計	523.5	515.9	△7.5
親会社所有者帰属持分比率	21.8%	23.5%	+1.8pt

## (増減の主な要因)

### ●資産合計

- ・ 現金及び現金同等物 △9億円
- ・ 営業債権及びその他の債権 +1億円
- ・ その他の流動資産 +1億円
- ・ 使用権資産 △2億円
- ・ のれん +2億円
- ・ 繰延税金資産 △1億円

### ●負債合計

- ・ 営業債務及びその他の債務 △3億円
- ・ その他の金融負債（流動） △18億円
- ・ その他の流動負債 +6億円
- ・ 借入金（非流動） +11億円
- ・ その他の金融負債（非流動） △1億円

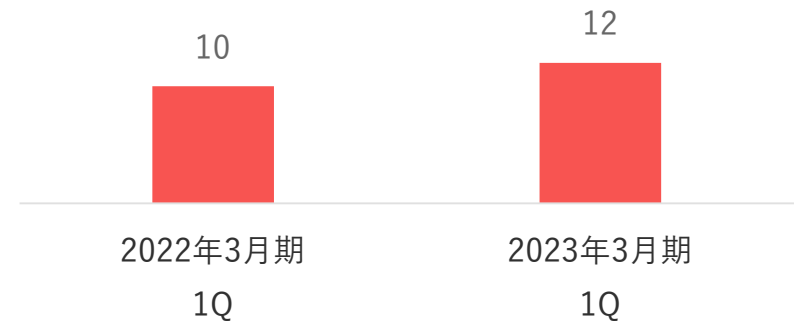
### ●資本合計

- ・ その他の資本の構成要素 +6億円
- ・ 非支配持分 △3億円

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q
税引前利益	11	14
減価償却費及び償却費	4	5
法人所得税の支払額	△4	△7
その他の営業活動	△4	1
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7</b>	<b>13</b>
有形固定資産等の取得及び売却	△1	△1
子会社株式の取得及び売却	0	0
その他の投資活動	4	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3</b>	<b>△0</b>
有利子負債の純増減	△6	5
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得及び売却	△8	△23
支払配当金	△5	△7
政府補助金による収入	0	0
その他の財務活動	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△19</b>	<b>△25</b>
為替変動の影響額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額	△9	△9
現金及び現金同等物四半期末残高	65	80
<b>フリーキャッシュ・フロー（営業C/F+投資C/F）</b>	<b>10</b>	<b>12</b>

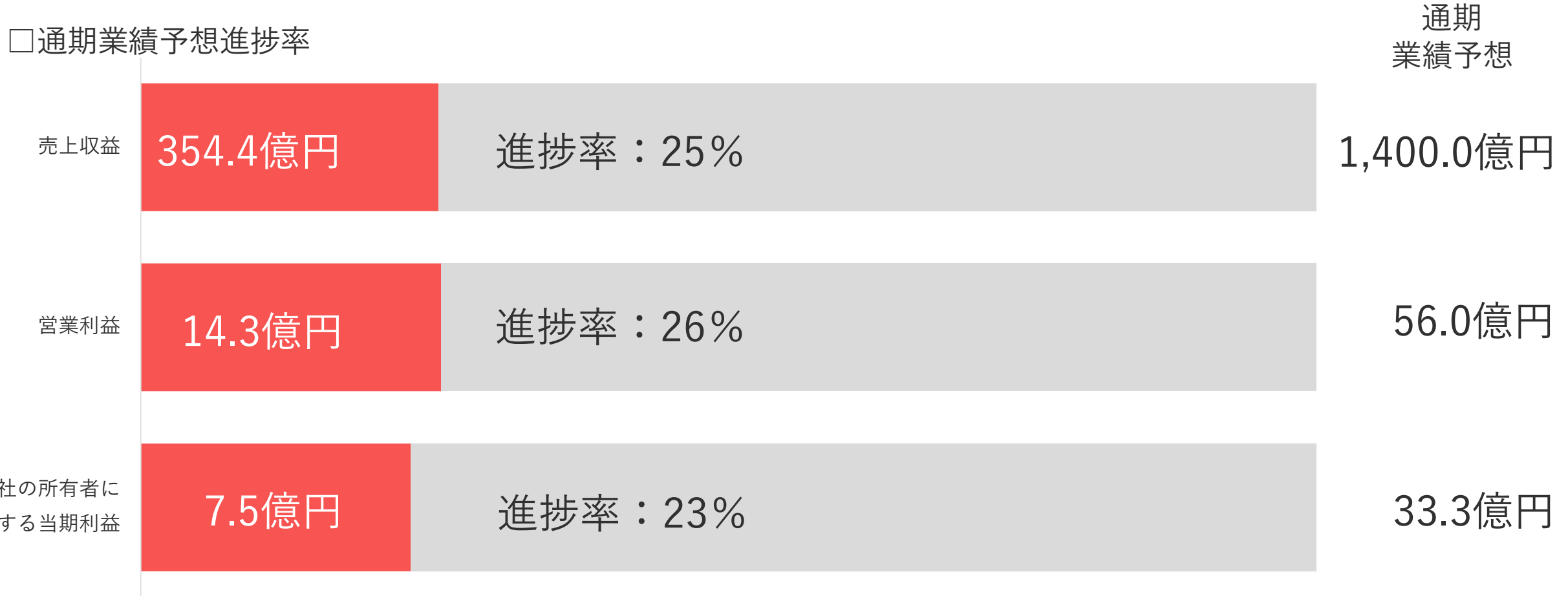
## フリーキャッシュ・フロー推移 (億円)



## II.2023年3月期 通期業績予想、配当予想

# 2023年3月期業績見通し

1Qは、順調なスタート。シンガポールドル、オーストラリアドルとも為替は円安に推移しており、業績予想に対し、売上収益で90億円、営業利益で4億円程度の上振れが見込まれる。ただし、足元の国内における感染拡大の状況を受け、期首業績予想を据置。



(参考 2022年5月11日公表) 2023年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想

(億円)	2022.3月期	2023.3月期 (業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	639.1	670.0	+ 30.8	+ 4.8%
うち国内WORK事業	395.9	426.6	+ 30.7	+ 7.8%
うち海外WORK事業	237.0	234.2	△2.8	△1.2%
うちその他	6.0	9.1	+ 3.0	+ 49.5%
売上総利益	140.3	149.3	+ 8.9	+ 6.4%
(売上総利益率)	22.0%	22.3%	+ 0.3pt	-
営業利益	26.8	22.5	△4.3	△16.2%
(営業利益率)	4.2%	3.4%	△0.8pt	-
うち国内WORK事業	21.6	23.9	+ 2.3	+ 10.6%
うち海外WORK事業	16.7	11.8	△4.9	△29.5%
うちその他	△2.0	△1.0	+ 1.0	-
うち調整額	△9.4	△12.2	△2.7	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	16.9	12.5	△4.4	△26.4%
EBITDA	36.5	32.7	△3.7	△10.3%
為替レート	前期実績	2023.3月期 (業績予想)	1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	83円	78円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	82円	79円	1.1億円	0.1億円

(参考 2022年5月11日公表) 2023年3月期 通期連結業績予想

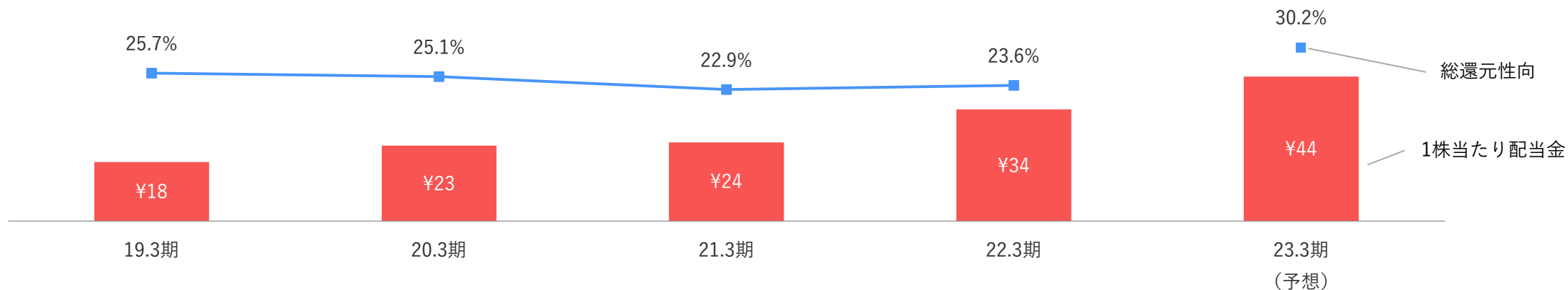
(億円)	2022.3月期	2023.3月期 (業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	1,310.8	1,400.0	+ 89.2	+ 6.8%
うち国内WORK事業	807.2	889.8	+ 82.6	+ 10.2%
うち海外WORK事業	487.4	490.3	+ 2.8	+ 0.6%
うちその他	16.0	19.8	+ 3.7	+ 23.2%
売上総利益	287.6	315.8	+ 28.1	+ 9.8%
(売上総利益率)	21.9%	22.6%	+ 0.6pt	-
営業利益	54.7	56.0	+ 1.2	+ 2.3%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	△0.2pt	-
うち国内WORK事業	44.4	56.9	+ 12.4	+ 28.1%
うち海外WORK事業	33.4	25.8	△7.6	△22.8%
うちその他	△3.4	△1.9	+ 1.4	-
うち調整額	△19.8	△24.8	△5.0	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.8	33.3	+ 0.4	+ 1.3%
EBITDA	75.5	76.7	+ 1.1	+ 1.5%
為替レート	前期実績	2023.3月期 (業績予想)	1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	83円	78円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	83円	79円	1.1億円	0.1億円

# 2023年3月期 配当予想

期首配当予想を据置き。  
2023年3月期配当予想は、期首業績予想に対する総還元性向:30%。

	2022.3月期	2023.3月期 配当予想
期末配当	34円/株	44円/株
総還元性向	23.6%	30.2%

## ■1株当たり配当金、総還元性向の推移



# Appendix



# 海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



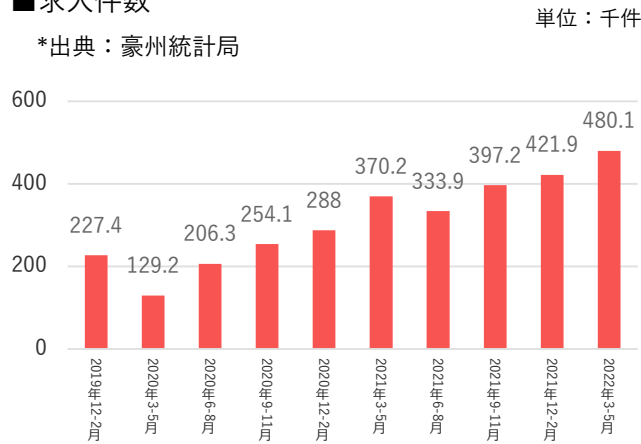
## 当社のビジネス環境

1Qにおいては、豪州、シンガポールとも国境が全面的に再開されたこと等により、景気は持ち直しています。人材需要においては、豪州、シンガポールとも求人数は過去最高水準で推移しており、人材紹介、人材派遣とも堅調に推移しました。なお、足元豪州、シンガポールとも新型コロナウイルス感染者数は増加しているものの、経済活動の制限はない見通しです。ただし、米国・中国を含めた世界経済情勢の先行きには、注視が必要です。

## 関連経済指標

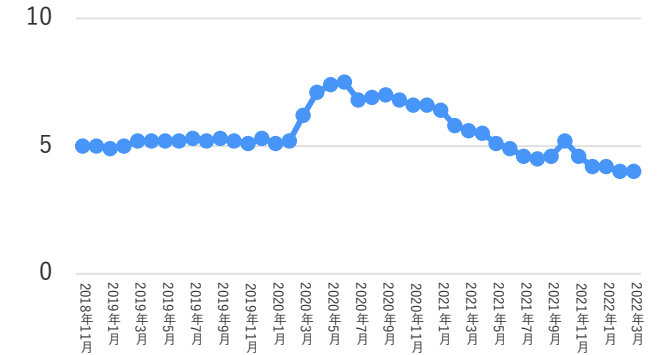
### ■求人数

\*出典：豪州統計局



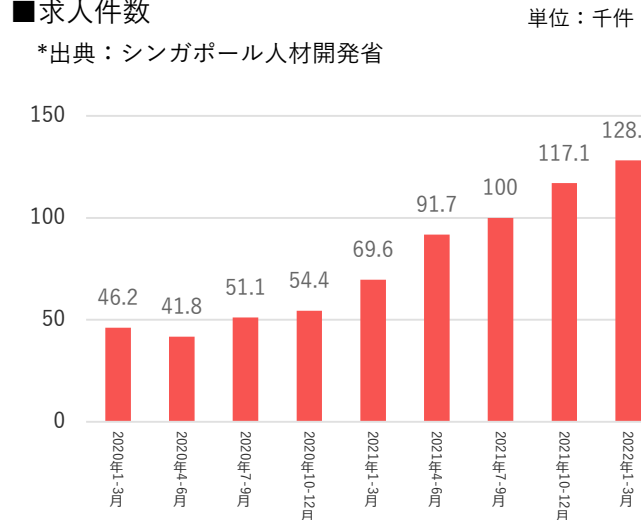
### ■完全失業率

\*出典：豪州統計局



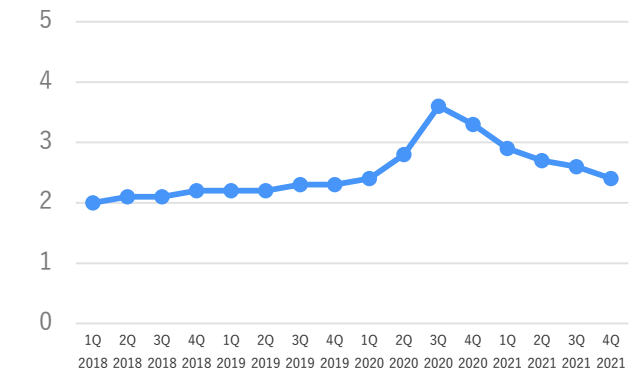
### ■求人数

\*出典：シンガポール人材開発省



### ■完全失業率


\*出典：シンガポール統計局



# 減損リスクについて

現時点で全ての会社は、減損リスクはない見通し。ウィルオブ・コンストラクションは、将来の利益拡大に向けて2023年3期までは先行投資期間。

(億円)

	主要拠点	事業内容	連結開始 (持分割合)	投資 残高 *1	*2	2022.3期 1Q	2023.3期 1Q	前年同期比
 ウィルオブ・コンストラクション	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ。	2018/6 (100%)	25.6	売上	13.3	16.5	+23.6%
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開。	2019/1 (100%)	27.2	利益	△2.0	△2.7	-
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開。	2019/4 (90%)	26.2	売上	4.7	5.4	+13.3%
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開。	2018/1 (100%)	16.7	利益	1.7	1.6	△4.1%
					売上	26.2	29.3	+12.0%
					利益	3.4	3.2	△6.4%
					売上	39.1	44.6	+14.0%
					利益	0.8	1.3	+64.3%

4 社合計投資残高 : 95億円  
連結投資残高 : 115億円

\*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

\*2 連結開示時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-6月の実績を記しています。

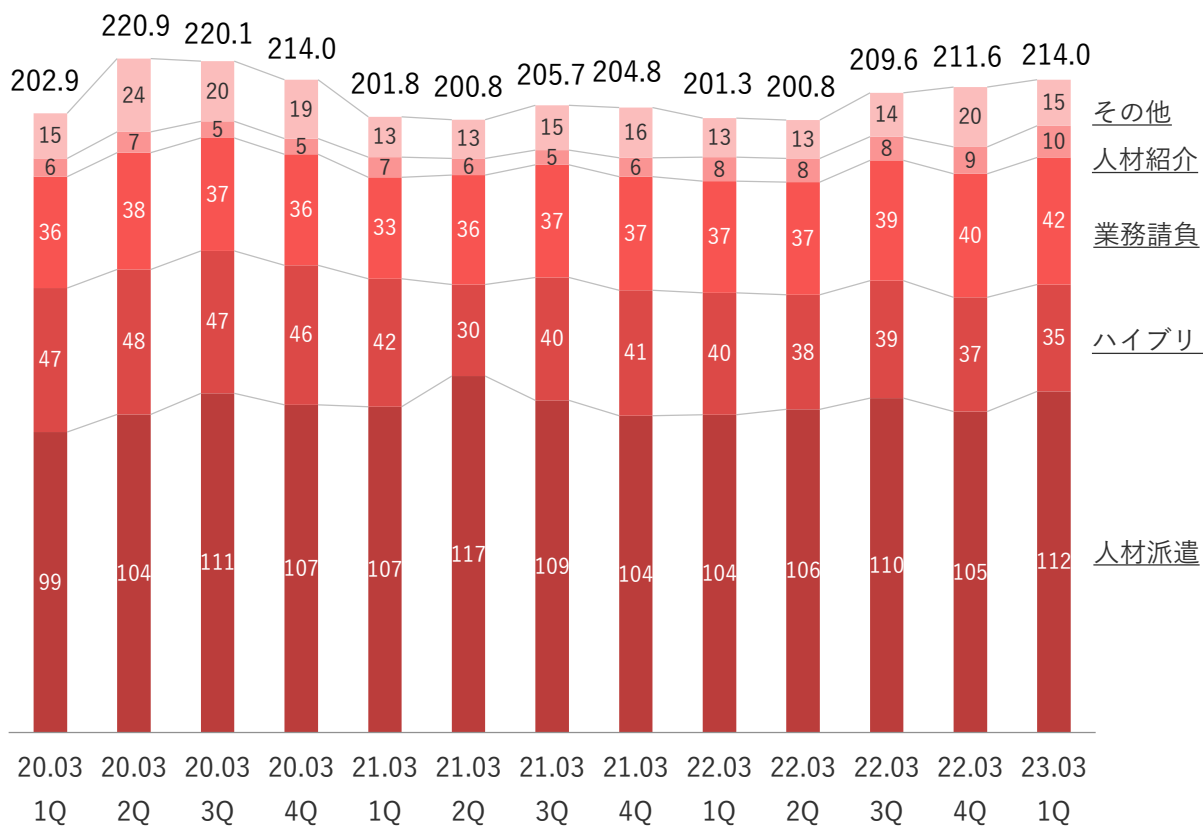
また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=94円、1オーストラリアドル=93円で換算しています。

\*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。

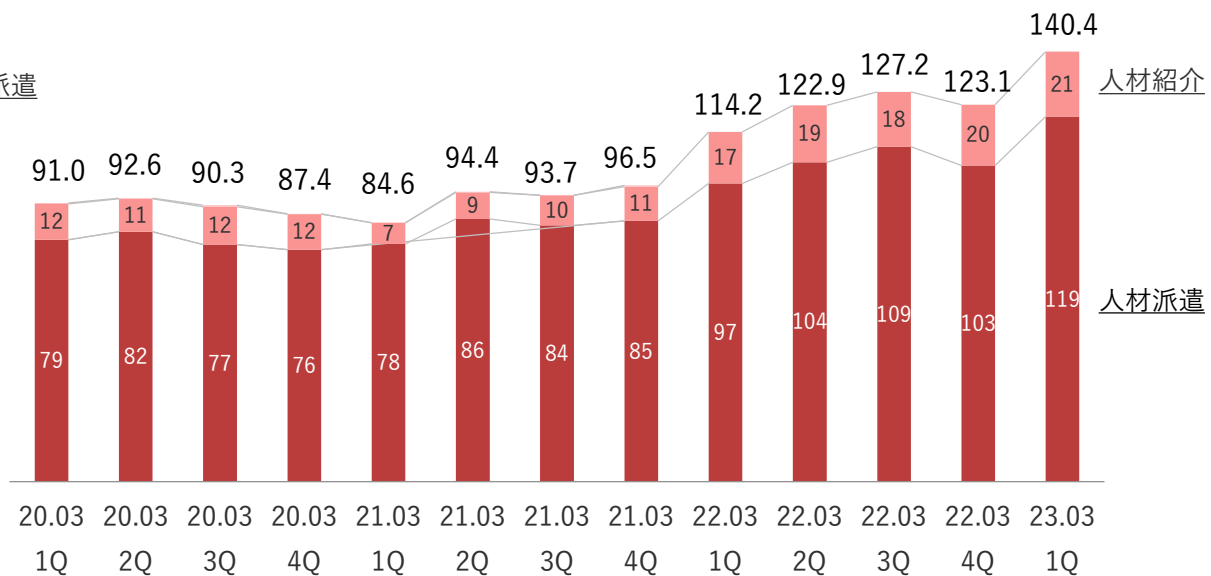
# 地域別 契約形態別 売上収益

## 国内

(億円)



## 海外





本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : [ir@willgroup.co.jp](mailto:ir@willgroup.co.jp)